



自分の進路について考えよう



いよいよ最上級生としての1年が始まります。ふだんは、あまり意識したことがないかもしれませんが、義務教育は中学校までです。ですから、中学校を卒業したあとの進路は自由に決めることができます。ただ、「自由に」ということは「自分で責任を持って」決めなければならないということです。また、中学校までは、いろいろな教科の基礎的な知識を学ぶのに対して、高等学校からは、分野が細かく分かれ、より高度な内容を学ぶこととなります。そのため、あらゆる分野を高等学校3年間で学ぶことは困難なのです。そこで、高等学校では、学科やコースなどで学ぶジャンルに分けて、必要なことを集中して学ぶのです。 **ポイント①**

すぐに社会に出て就職するなら、自分がどんな仕事に向いているかを考えなければなりませんし、大学進学を目指すのなら、大学進学に向けての勉強が必要です。高等学校で専門的な技能を身につけてから社会に出て働く道もあります。単に「高等学校に進学する」ではなく、その後の自分の将来を見すえた上で進路を考えなくてはなりません。 **ポイント②**

さて、本年度も、時間を大切にしながらも丁寧に準備を進めていきます。まず、年間4回の進路希望調査を行います。その調査は、家庭内の話し合いを進めていくためのペースメーカーとして利用していただきます。その調査とステップアップテスト(所沢市内の公立中学校の実カテスト)の結果をもとに、三者相談で話し合いを深めていきます。また、卒業後の進路について、生徒の皆さん、保護者の方々、教職員の三位一体で考える進路学習会も実施する予定です。

ほとんどの生徒が「中学校を卒業したら、高等学校に進学したい」と考えています。それでは、「どうして高等学校に行きたいか」「高等学校で何を学びたいか」と聞かれたら、きちんと答えられるでしょうか。具体的な学校名がたくさん進路希望調査用紙に記入され、具体的に志望理由をしっかりと述べることができる人は、目標を持って努力している人だといえます。 **ポイント③**

今後、進路学習がさらに進んでいきますが、一人孤独ではありません。最終の決断は自分自身で行いますが、周りの支えてくれる人達と相談し、励まし合いながら進めていきましょう。そして、自分の特性を見極めて、後悔しない進路選択をしましょう。 **ポイント④**

進路選択の秘訣は、下線部の①～④の4ポイントです。

- ポイント① → 高校入学は目標ではなく、高校で何を学んで卒業するかが最重要です。
- ポイント② → 高校進学希望であれば、高校卒業後の進路を一番に注目してください。
- ポイント③ → 志望動機が本物であればあるほど、志望の幅は広がっていきます。
- ポイント④ → 進路選択は、周りの方に相談しながらも、最後は自分で決断します。

互いに信頼しあい充実した1年にしていきたいと思います

「今年は本当にいい一年間でした。ありがとうございました。」と卒業の日に去っていかれる保護者の方々は、面談等で私たち教師と接し、よく話し合ってきた方です。度重なる対話によって、お互いにわかりあえるようになってくるからでしょう。

「今年の進路選択はうまくいった」というとき、決して合格者数や去年度との比較をさしているではありません。どれだけ父母と教師が理解し合い、手をつないで行動し、より満足のいくこれから先の進路に期待感のもてる状況を生み出したか否かにかかっていると思います。

私たちは、生徒ひとりひとりが自分をみつめながら、進路選択・決定をする過程で人間的に大きく飛躍できることを願っています。

進路と生活は切り離して考えられないものです。この進路だよりには、進路に関するさまざまな情報・進路に対しての考え、学習や生活などについて載せていく予定です。紙面を通して、意見交換や感想の交換などもできたらと思います。学校と家庭、家庭と家庭をつなぐものとなることを願っています。ご協力をお願いします。

進路相談Q & A ☆きめこまかく、皆さんの疑問に答えるために☆

保護者の皆様からご質問がある場合、メモして担任にお届けください。ご質問をもとに、これから「進路相談Q & A」を連載していきたいと思えます。

初めてわが子が進路選択に遭遇するという方の場合、様々な不安や疑問もあることでしょう。そのような保護者の方々にも参考になる記事・情報提供をしていきたいと思っています。遠慮なく質問をお寄せください。(封筒に入れるなどして生徒に持たせて下さい。通信にのせるときは匿名にいたします。)

第1回 進路希望調査提出日 4月20日(土)迄

市内中学校の状況の集約やハローワークとの打合せに使用します。余裕をもって、担任へ提出してください。

